

職員意識改善と人口減に歯止めをかける 市民サービスについて 金銅 成悟 議員

問 市民の皆様にご満足いただけて、窓口以案内職員を配置して分かりやすくする等、大和郡山市に住み続けたいと思っていただけるような市民サービスと、それに向けた職員の意識改善及び研修体制、その他9点について問う。

答 実演を積極的に交えた「接遇研修」や、障害者サービスに必要な手話技術を習得する「手話研修」など、市民サービス向上と職員の資質向上のため、今後も効果的な研修を実施してまいりたいと考えております。また廊下の案内表示の更新等については、可能な限り、イメージを損なわない分かりやすいものにできるよう改善に努めてまいります。

保育園、認定こども園について 吉川 幸喜 議員

問 この10年間に保育園・認定こども園の施設整備が進み、公立園・民立園ともに定員の充実が図られている。その一方で、保育士不足による待機児童は解消されておらず、特に公立園における保育士不足が深刻な状況である。現在の待機児童の状況と今後の保育士確保策は？

答 平成31年度において待機児童が18名、希望する保育園に入園できない児童が135名発生しています。保育園・認定こども園の定員が10年前の1,340名から1,917名へと増加したのに対し、令和2年3月時点の在園児数は1,655名となっており、保育士の確保のため、従来の方策に加えて、保育士準備金貸付事業の広報啓発や学校への呼びかけ等を行なってまいります。

市内移動手段について 村田俊太郎 議員

問 上市市長より、高齢者移動手段として、車両から運営費の一切を市からの委託料で賄う地区社会福祉協議会が主体となる事業を発表されました。運転をされる地域の方への報酬や危険を少しでも回避できる電動カート導入に対する見解をお聞かせください。

答 運転をされる地域の方は無償ボランティアで行いますが、車両事故における車両の修理や第三者に対する業務上の責任は全て大和郡山市が負います。高齢者移動手段として使用する車両は、長時間の使用に耐えるガソリン自動車を予定しております。電動カートの導入につきましては、河内長野市における「グリーンスローモビリティの効果的導入実証事業」を検証してまいります。

市民の要求に応える公共施設の有効活用 について 西村千鶴子 議員

問 人生100年時代を迎え、市民が時代の流れに適応しながら快適で充実した人生を送り、健康寿命も延ばす為に、多世代の多様なニーズに応じた生涯学習の活性化と公共施設の空き室の有効活用が必要です。市の方策は？

答 公民館の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という機能に即し、市民の興味や関心に基づいて、知識や技術を学び、気軽に集う場として、活力と潤いのある活動を行なってまいります。また、多世代のニーズにあった主催講座をさらに充実してまいります。図書館におきましては、「本と人、人と人の出会いの場」となるように他市の事例も参考にして、若年層の利用者も集いやすいような集会展示室のより柔軟な利用の検討をしてまいります。

奈良県中央卸売市場の再整備について 堀川 力 議員

問 奈良県が進めている中央卸売市場の再整備計画について、市は今後の事業化に対してどのように関わっていくのか、また、市都市計画マスタープランの位置づけについて伺います。

答 県中央卸売市場は開設後40年の老朽化に加え、多様化する流通への対応として基本計画を策定されました。事業者向けの市場エリアと一般消費者向けの賑わい創出エリアの整備に向け、事業者公募の検討など、準備を進めていると聞いております。また本計画は周辺地域と共生した一体的なまちづくりを目指す市の計画に沿うものであり、再整備の実現に向けては周辺交通や治水の課題などがありますが、県担当部局と連携して対応してまいります。

学校統廃合について 障がい者施策について 上田 健二 議員

問 ①全国では小中一貫校や学校統廃合が進められているが、大和郡山市ではどのような計画・スケジュールになっているのか。②視覚障がい者には、納税や保険料、公共料金のお知らせが読めない。市のホームページも現在まったく読めないようだが、どのように考えているのか。

答 ①審議会の答申においては、基本的な考えだけでなく、小中一貫校等の導入など様々な点に留意が必要であると述べられており、今後十分時間をかけて調査・研究を進めていき、その上で計画の策定に取り組んでまいりたいと考えております。②ホームページのリニューアルにおいて、視覚障がいのある方や高齢者にも配慮し、音声読み上げソフトに対応できるよう検討しております。